

日程	平成 22 年 2 月 22 日 10 : 45～11:00
説明会場	正プラス株式会社
担当者	飛騨高山森林組合 細洞氏
バイオマス活用取組み概要	岐阜県北部の高山市及び白川村の区域を管轄する森林組合であり、木質燃料株式会社および正プラス株式会社等に木質原料を供給している。

1. 説明内容

間伐による森林整備

飛騨高山森林組合では、高山市と白川村の森林整備や用材の販売などを行っており、今回の説明会にも含まれる正プラス株式会社や木質燃料株式会社にも材料を供給している。

正プラスにはアロマオイルの原料となるスギやヒノキ、クロモジの枝などを、木質燃料には木質ペレットの原料となる間伐材を納めている。

コスト試算の実証実験の実施

間伐に関して、搬出・運搬コストが嵩むことがしばしば問題となる。今年度、スギの間伐地で用材を搬出した後、林地残材の搬出実証実験を行ったところ、1ヘクタールから約 20t 排出された林地残材を森林内から工場へ搬出・運搬するのに 1t あたり 5,000～7,000 円の費用がかかることが分かった。

販売先からは 1t あたり 3,000 円程度という要望があるため、これの単価を目標としてコスト削減に取り組みたい。現状のところは、市からの助成がないと厳しい状況である。



(写真 1) 飛騨高山森林組合からの説明

2. 質疑応答

質問 1 : 間伐する樹木にはどんなものがあるか。

回答 1 : スギが主であり、用材にならないもの多くはパルプ材として利用される。

質問 2 : 間伐の費用で最もネックとなるのはどの点か。

回答 2 : スイングヤーダ、フォワーダによる搬出コストが嵩む。

質問 3 : 実証実験に用いた重機の種類は何か、また移動距離はどのように設定したか。

回答 3 : 搬出は 4t のフォワーダ、運搬は 10t トラック、工場までの距離は 40km として算出した。



(写真 2) 説明会の様子

質問 4 : 間伐により、治山の効果はあるか。

回答 4 : 間伐して 5 年も経つと見違えるほど整備されていることを実感できる。照射範囲が広がるため、枝や根の張り具合が良くなる。また、森林の生物多様性も増しているようである。定量化してはいないが、間伐の効果は十分にあるように感じられる。

3. 所感

搬出コスト実証実験の結果について、実験方法に関する具体的な質問が幾つか挙げられた。間伐材の運搬コストに対する関心の高さが伺えた。また、間伐により森林の生態系に良い影響があったと伺えたことは、非常に新鮮であった。